

M E L S A F E T Y - G
カードリーダーの操作説明書
(文字発光方式[L E D 9 灯])

U C R - 8 2 3 3 (文字発光方式[L E D 9 灯])

U C R - 8 2 5 3 (文字発光方式[L E D 9 灯])

COPYRIGHT (C) 2011 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED

MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

目次

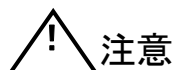
目次	2
安全に関するご注意	3
まえがき	6
1. 各部の名称とはたらき	7
2. 機能概要	11
3. カードのかざし方	12
(1) カード読み取り部にカードをかざす場合	12
(2) ファンクションキーを操作する場合	12
4. アクセスコントロールモードの扉の操作順序	13
(1) 警備解除操作（初回入室時）	13
(2) 一時解錠操作（通常の入退室）	14
(3) 警備開始操作（最終退室時）	15
5. アクセスコントロールモードの扉の一時解錠操作	16
6. キーレスモードの扉の操作順序	17
(1) 警備解除操作と連続解錠操作（初回入室時）	17
(2) 通常（連続解錠中）入退室	17
(3) 警備開始操作（最終退室）	18
7. キーレスモードの扉の連続施解錠操作	19
(1) 連続解錠（初回入室時）	19
(2) 通常（連続解錠中）入退室	19
(3) 連続施錠（最終退室）	19
8. 防犯付きキーレスモードの扉の操作順序	20
(1) 警備解除操作（初回入室時）	20
(2) 通常（連続解錠中）入退室	20
(3) 警備開始操作（最終退室）	20
9. 通行モードの切替え操作	21
(1) 通行モードの切替え操作	21
10. 非常解錠中の操作	22
(1) もとの状態に戻すには	22
(2) 非常復旧後の状態	22
11. 2人照合	23

安全に関するご注意



警告

- ご使用の前に、必ず各機器の「取扱説明書」、「操作説明書」等をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- 機器を分解、または改造等は実施しないでください。
火災、感電、故障等の原因になります。
- 水で濡らさないで下さい。
ショートや発熱により火災、感電、故障等の原因になります。機器の外側に水滴がついた場合には布で拭き取ってください。内部に水滴が入った場合には、保守会社へ連絡ください。
- ものをぶつけないで下さい。
固いもの、突起物をぶつかけたりすると、機器の故障の原因となり、ショートや発熱により火災、感電、故障等の原因となります。



注意

- 直射日光の当たる場所に設置しないで下さい。
- 屋外に設置しないで下さい。
- 医療機関等では、電波を用いた機器の設置を禁止している場合もありますので、ご注意下さい。
- 電波法の制限により医療機器に同一周波数を使用しているものがあります。
- 点検・保守
日常点検や、定期点検は確実に行ってください。そうでない場合は、故障や不具合の原因になります。感電防止のため、機器の扉・カバー等は開けないでください。点検・保守は保守会社に依頼してください。
- 清掃
乾いた柔らかい布で軽く拭いて下さい。よごれがひどい場合は水を含ませて固く絞った布でいいいに拭きとった後、乾いた布で仕上げて下さい。内部に、水分や異物が入らない様注意してください。
アルコール、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品を使用しないでください。変質、変形するおそれがあります。
- その他
本システムは、警備状況の監視や電気錠の制御を行います但犯罪そのものを防止するものではありません。
万一、機器から異常な臭いがしたり、過熱や発煙した場合は、該当機器に電源供給しているブレーカを遮断してください。その後、速やかに保守会社に連絡願います。

機器故障による二次的損害について、責任は負いません。

非接触カードリーダーは電波を用いた機器であるため、周囲に金属、電気機器、電源ケーブル等があると読み取りにくくなったり、読み取れなくなります。また、電波（ラジオ・テレビ・インバータ類）に対しても大きく影響されます。これらの物を周辺に設置しないで下さい。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

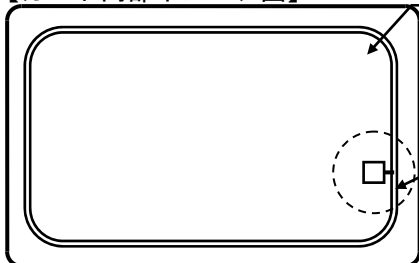
●カードの取扱いに関する禁止事項及び注意事項

カードは内部にアンテナ、微細な電気部品を内蔵した非接触式のＩＣカードです。カードを曲げたり、圧力を加えたりすると、内蔵している電気部品にストレスが掛かり故障の原因になる場合があります。また、カードの表面に使用している樹脂材料(塩ビまたはPET)は熱により変形する場合があります。

カード破損を防止する為、下記の点に注意してご使用いただきますようお願い申し上げます。

- ・ 曲げたり、折ったり、圧力を加えたりしないでください。
- ・ ハードタイプのカードケースをご利用いただき、ケースに入れたまま、財布、かばん等に保管してください。ケースに入れたまま、胸等にぶら下げて使用されることをお勧めします。
- ・ ご使用中（及び保管中）に落としたりしない様、十分注意願います。
- ・ 高温になる場所（車のダッシュボード等）に放置しないでください。
- ・ 機械挿入式の読み取り装置等に挿入した場合、装置の構造により破損することがありますので使用目的外の装置にカードを使用しないで下さい。
- ・ 磁石に近づけないでください。（磁気ストライプがある場合、データ破損の原因となります。）
 - ①カバンのフタ止めなどの磁石に直接触れないようにしてください。
 - ②コピー機のクリップなどを集める磁石やホワイトボードの磁石に触れないようにしてください。
 - ③テレビ、スピーカ、パソコン又は電子レンジなど磁力の強い機器に触れないようにしてください。
 - ④携帯電話のスピーカ部分などに直接触れないようにしてください。
- ・ カードリーダーにかざすときは、入退室用カード１枚で操作ください。
カードケースに、他のカードと一緒に入れたまま操作しないでください。ポイントカードなど白濁りライト方式カード、アルミシートを使用しているくじやスクラッチカード、たばこ（銀紙有り）箱、コイン・貴金属の入った財布のように、電波を妨げるものと一緒に操作すると反応しない場合があります。
- ・ カードに電磁界を与える以下の作業現場ではカードを携行しないで下さい。
（カード故障の原因となります）
 - ①溶接作業現場
 - ②静電気試験、ノイズ試験を行なう品質保証作業現場
 - ③その他 強力な電磁界を発生する動力線や変電設備もしくは大容量モーターの周辺。
- ・ カードを紛失した場合には、速やかに管理者または保守会社に連絡して下さい。

【カード内部イメージ図】



アンテナ

カードのほぼ外周にアンテナが実装されているため、カードの破損及び穴あけ等を行うとアンテナが断線します。

ＩＣチップ実装部

封止材により固定されていますが、部分的な曲げ及び衝撃により封止剤がクラックしてしまいます。

●お客様にて印刷される場合のカードの取扱いに関するお願い

- ①生カードは保管中に埃等が付着しない様、梱包箱に収納して保管してください。
- ②カード表面を「素手」で触れますと油脂付着による印刷不良の原因となりますので注意願います。
- ③前頁に示す I C 実装部については印刷性が若干低下致しますのでデザイン(印刷レイアウト)作成の際にはご配慮の程、お願い致します。
- ④本カードとの相性が確認された印刷機を使用頂くことをお勧めします。印刷機の型名等については、別途お問い合わせ下さい。

●カードリーダーを防滴ボックスに収納している場合の取扱いに関するお願い

カードリーダーを防滴ボックスに収納している場合、以下を守ってください。

- ①カードリーダーは防滴仕様ではありません。
操作するため扉を開けたとき水が浸入しないようにしてください。
特に雨が降っているときは傘で覆うなどして雨水がボックスの中に入らないようにしてください。
- ②操作したあと雨水などが侵入しないように、扉は確実に閉めてください。

まえがき

本資料は通用口や各部屋の入退室扉ごとに設置され、利用者が所有するカードを照合することによりその扉に対して通行可能かどうかを判断し、電気錠を施解錠制御するカードリーダーの操作方法についてまとめたものです。

※本書でのマーク、表記について

[] カードリーダー上のキーを、[キー名]で表記します。

note 補足説明や、関連するH I Pでの設定について記載しています。

!! 操作上の注意事項を記載します。

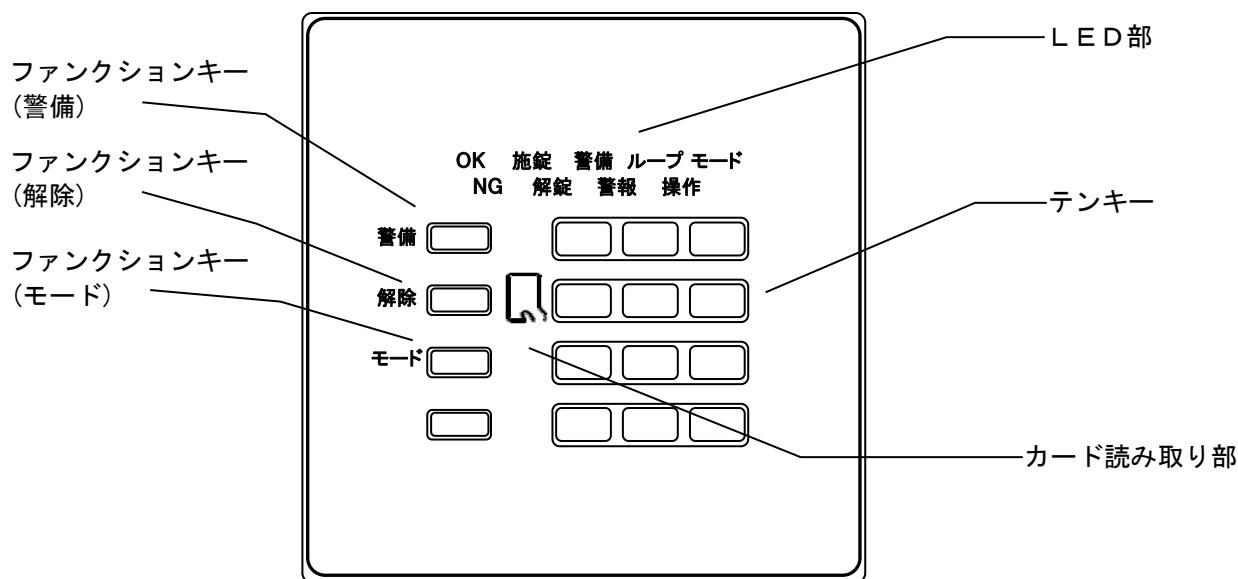
重要 操作や設定を間違えると意図しない動作になってしまうなど重要事項を記載しています。

※本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

※本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

1. 各部の名称とはたらき

<テンキー・ファンクションキー付きタイプ> (UCR-8233)



(LED、ファンクションキーは、納入されるタイプにより上記と異なる場合があります)

①カード読み取り部 照合する時に、カードをかざします

②LED表示 カード操作時の照合結果、電気錠の施解錠状態等を表示します。

LED	状態	表示色
OK	通常時(操作なし)	消灯
	照合OK(※1)	緑点灯
NG	通常時(操作なし)	消灯
	照合NG(※1)・操作禁止	赤点灯
施錠	解錠中	消灯
	施錠中	緑点灯
	非常解錠中(※2)	赤点滅
解錠	施錠中	消灯
	解錠中	赤点灯
警備	警備解除中	消灯
	警備中	緑点灯
	警報(侵入発生)	緑点灯
	仮警備(ループ異常で警備操作)	緑点滅
	非常解錠中(※2)	赤点滅
警報	通常時(操作なし)	消灯
	警報(侵入発生)	赤点灯
ループ	ループ断	消灯
	他センサーループ断	赤点灯
	ループ正常	橙点灯
	非常解錠中(※2)	赤点滅

モード	デフォルトモード	消灯
	モード変化	橙点灯
	非常解錠中(※2)	赤点滅
操作	通常時(操作なし)	消灯
	ファンクション押下後カード操作待ち	緑点滅
	一人目照合OK二人目照合待ち(※3)	緑点滅
	テンキー(暗証番号)入力待ち	緑点滅

(※1)照合OK、NGとなる条件は、認証端末毎の照合条件によります、

(※2)警備切替えやモード切替えの機能が無い場合も非常解錠中はLEDが赤点滅します。

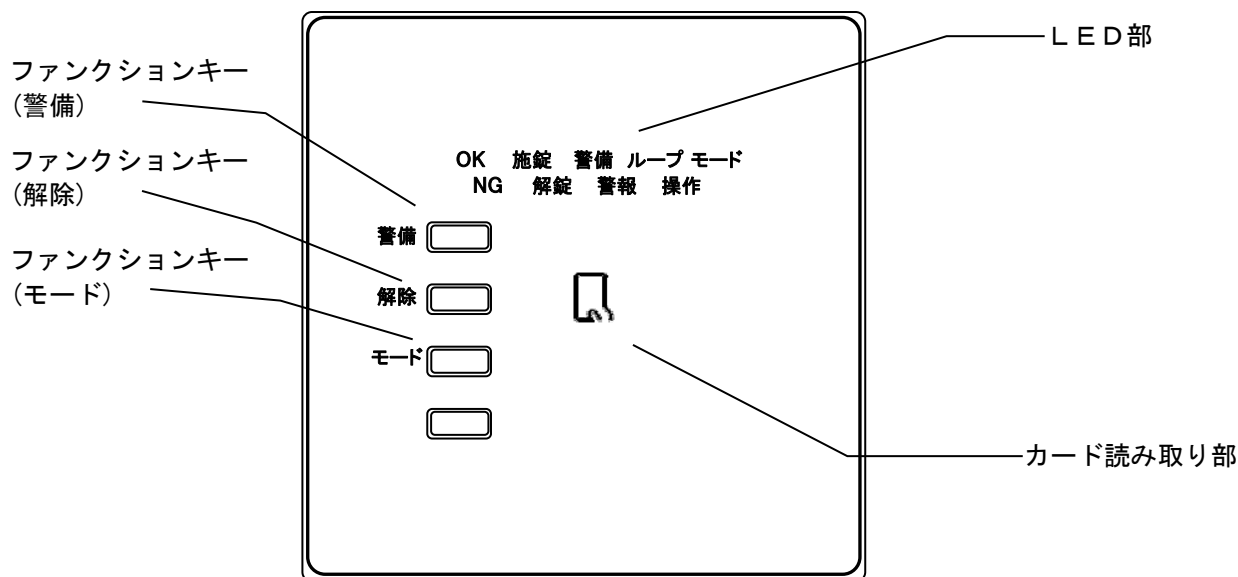
(※3)2人照合オプションを設定した場合のみとなります。

- ③ファンクションキー 警備 警備を開始(最終退室)するときに使用します。
 解除 警備を解除(初回入室)するときに使用します。
 モード モードを切替えるときに使用します。
- ④テンキー 暗証番号がある場合などに、番号の入力に使用します。

※フェースによっては表示されない項目があります。

※本案件ではテンキーの運用はございません。

<ファンクションキー付きタイプ> (UCR-8253)



(LED、ファンクションキーは、納入されるタイプにより上記と異なる場合があります)

①カード読み取り部 照合する時に、カードをかざします

②LED表示 カード操作時の照合結果、電気錠の施解錠状態等を表示します。

LED	状態	表示色
OK	通常時(操作なし)	消灯
	照合OK(※1)	緑点灯
NG	通常時(操作なし)	消灯
	照合NG(※1)・操作禁止	赤点灯
施錠	解錠中	消灯
	施錠中	緑点灯
	非常解錠中(※2)	赤点滅
解錠	施錠中	消灯
	解錠中	赤点灯
警備	警備解除中	消灯
	警備中	緑点灯
	警報(侵入発生)	緑点灯
	仮警備(ループ異常で警備操作)	緑点滅
	非常解錠中(※2)	赤点滅
警報	通常時(操作なし)	消灯
	警報(侵入発生)	赤点灯
ループ	ループ断	消灯
	他センサループ断	赤点灯
	ループ正常	橙点灯
	非常解錠中(※2)	赤点滅

モード	デフォルトモード	消灯
	モード変化	橙点灯
	非常解錠中(※2)	赤点滅
操作	通常時(操作なし)	消灯
	ファンクション押下後カード操作待ち	緑点滅
	一人目照合OK二人目照合待ち(※4)	緑点滅

(※1) 照合OK、NGとなる条件は、認証端末毎の照合条件によります、

(※2) 警備切替えやモード切替えの機能が無い場合も非常解錠中はLEDが赤点滅します。

(※3) 2人照合オプションを設定した場合のみとなります。

- ③ファンクションキー 警備 警備を開始(最終退室)するときに使用します。
 解除 警備を解除(初回入室)するときに使用します。
 モード モードを切替えるときに使用します。

※フェースによっては表示されない項目があります。

2. 機能概要

●通行モードごとの操作

カードリーダーの操作方法は、カードリーダーの種類・動作タイプの設定により、以下の種類があります。お客様の扉の運用に合わせた操作方法を参照ください。

①アクセスコントロール(ACS) → 4. 及び 5. 参照

常時施錠している扉にて、通行時にはカードを操作して扉を一時解錠して通行します。

警備ファンクション付きカードリーダーの場合、ファンクション操作にて初回入室時に警備解除操作、最終退室時に警備開始操作をします。警備解除中のみ一時解錠可能です。

※初回入室時の警備解除操作にて警備解除とともに一時解錠されます。

②キーレス → 6. 及び 7. 参照、

カードを操作するたびに、連続施錠と連続解錠を交互に切替えます。初回入室者が連続解錠し、最終退室者が連続施錠するまで、扉の通行はフリーになります。

ファンクション付きカードリーダーの場合、ファンクション操作にて初回入室時に警備解除操作、最終退室時に警備開始操作をします。

※警備開始、警備解除時は施錠となります。

③防犯付きキーレス → 8. 参照

カードを操作するたびに、連続施錠・警備開始と連続解錠・警備解除を切替えます。

また、警備解除中のみ①アクセスコントロールと②キーレスを切替えることができます → 9. 参照

●オプション機能

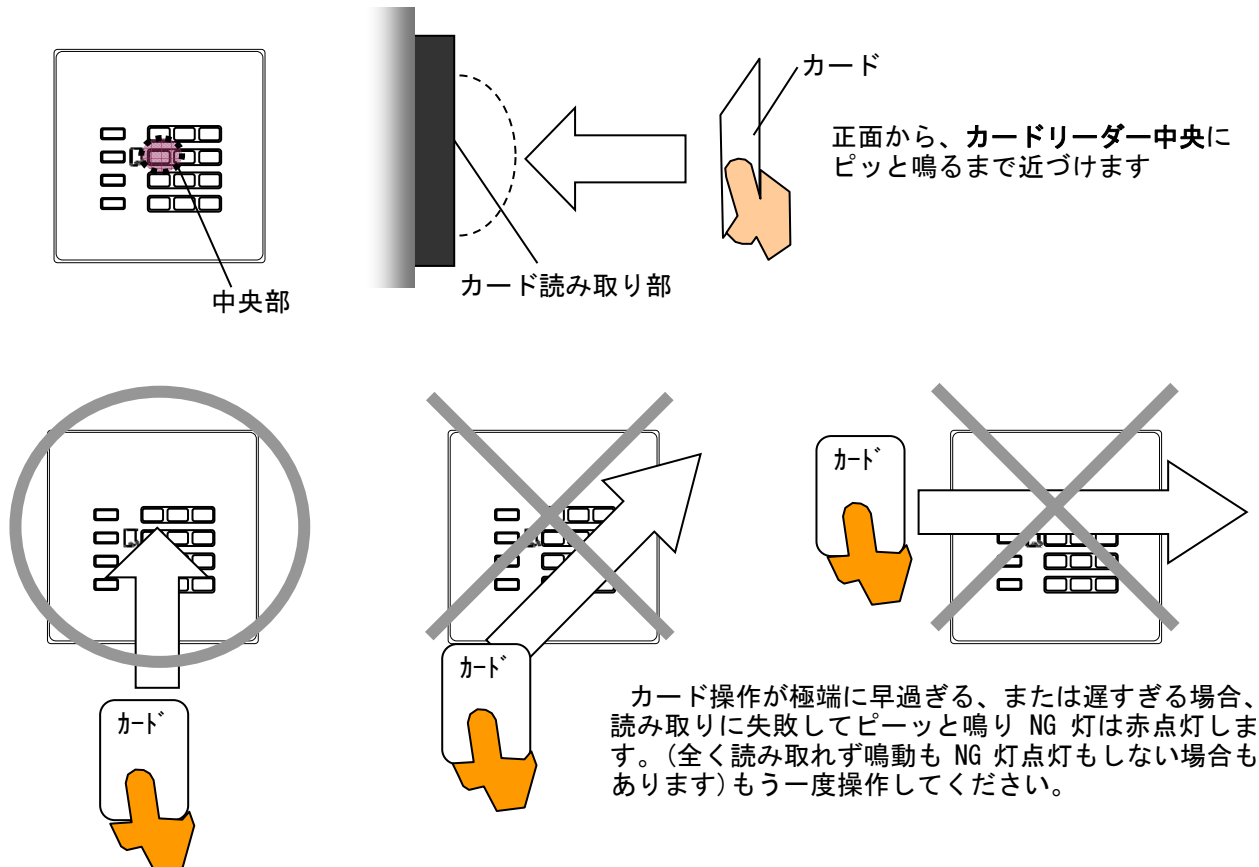
2人照合 → 11. 参照

施解錠や入退室時のカード操作において、連続した2人の異なる個人による照合OKによって制御を実行します。

3. カードのかざし方

(1) カード読み取り部にカードをかざす場合

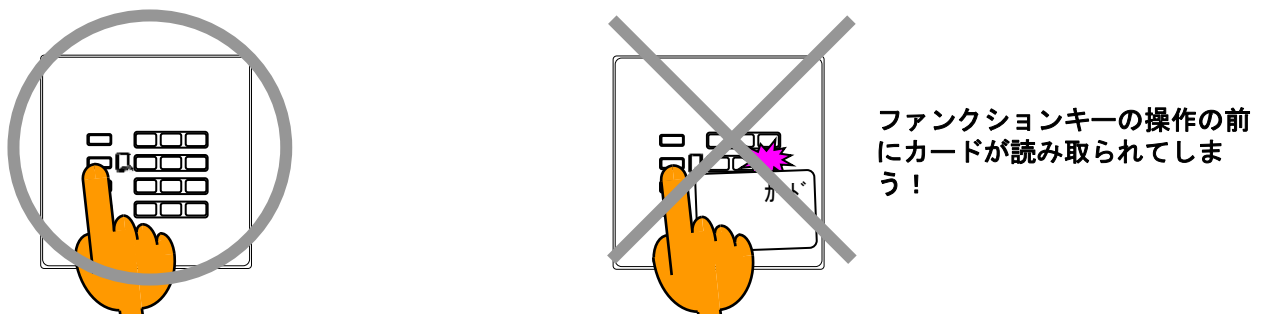
下図を参考にカード読み取り部に平行にカードをかざします。
該当の入退室用カード1枚で操作ください。



重要 このとき、カードや手・指でファンクションキーやテンキーを押さないようにしてください。

(2) ファンクションキーを操作する場合

カードは反対の手に持ち（ファンクション操作する手で持たずに）、操作してください。
カードを持った手で操作すると、カードが読み取られてしまい、意図しない動作となることがあります

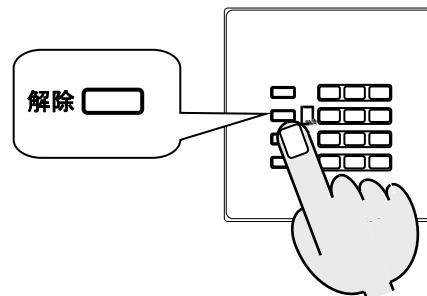


4. アクセスコントロールモードの扉の操作順序

※侵入監視しない（警備ファンクションが無い）場合は5. を参照ください。

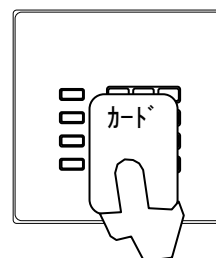
（１）警備解除操作（初回入室時）

- ① ファンクション[解除]キーを押します。
→操作灯が緑点滅します。



- ② カード読み取り部にカードをかざします
→カード照合OKの場合
OK灯が緑点灯（2秒）します。③へ

- カード照合NGの場合
NG灯が赤点灯（2秒）すると同時に、ブザー鳴動します。
①から操作しなおします。



note

ファンクション押下後12秒経過にて押下が取り消されますので、
①から操作しなおします。

- ③警備が解除され、警備灯が消灯します。

- ④電気錠が一時解錠され、施錠灯が消灯し、解錠灯が赤点灯します。
扉を開け、入室後、扉を閉めます。
→扉が施錠され、施錠灯が緑点灯し、解錠灯が消灯します。

note

電気錠が解錠された後、一定時間（初期値 13 秒）以内に入室しない場合、自動で施錠されます。
入室後、一定時間（初期値 30 秒）以内に扉を閉めない場合、長時間開放警報が発生します。
自動施錠や、長時間開放発生までの一定時間はH I Cにて変更できます。

(2) 一時解錠操作 (通常の入退室)

① カード読み取り部にカードをかざします

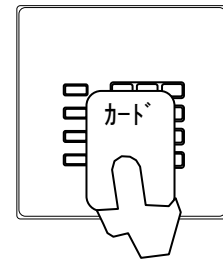
→ カード照合 OK の場合

OK 灯が緑点灯 (2 秒) します。②へ

→ カード照合 NG の場合

NG 灯が赤点灯 (2 秒) すると同時に、ブザー鳴動します。

①から操作しなおします。



② 電気錠が一時解錠され、施錠灯が消灯し、解錠灯が赤点灯します。

扉を開け、入室後、扉を閉めます。

→ 扉が施錠され、施錠灯が緑点灯し、解錠灯が消灯します。

note

電気錠が解錠された後、一定時間 (初期値 13 秒) 以内に入室しない場合、自動で施錠されます。

入室後、一定時間 (初期値 30 秒) 以内に扉を閉めない場合、長時間開放警報が発生します。

自動施錠や、長時間開放発生までの一定時間は H I C にて変更できます。

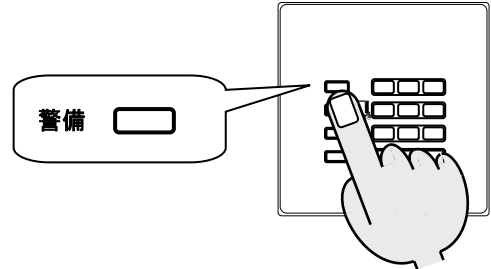
(3) 警備開始操作（最終退室時）

- ① ループ灯が橙点灯していることを確認します。

note

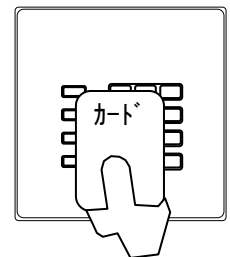
消灯或いは赤点灯の場合は、扉や窓が開いています。すべて閉めてください。

- ② ファンクション[警備]キーを押します。
→ 操作灯が緑点滅します。



- ③ カード読み取り部にカードをかざします
→ カード照合OKの場合
OK灯が緑点灯（2秒）します。④へ

→ カード照合NGの場合
NG灯が赤点灯（2秒）すると同時に、ブザー鳴動します。
①から操作しなおします。



note

ファンクション押下後12秒経過にて押下が取り消されますので、
①から操作しなおします。

- ④ 警備が開始され、警備灯が緑点灯します。

！！ ループ灯が消灯或いは赤点灯の場合、警備操作は無効となりますので、
①から操作しなおします。

なお、メーカーの設定変更により、ループ灯の消灯・赤点灯中の警備操作を有効にすることもできます。有効時の動作は以下のとおりです。

！！ ループ灯が消灯或いは赤点灯の場合、一定時間（初期値10秒）仮警備状態となります。
（仮警備状態：警備灯が緑点滅しブザー鳴動を繰り返します。）

→ （1）警備解除操作（初回入室時操作）を行います。

部屋内のすべての扉・窓などが開いていないか確認し、①から操作しなおします。

→ 一定時間以内に解除操作をしない場合、警備が開始され、侵入警報となります。

note

仮警備状態の時間は、HISで変更できます。

5. アクセスコントロールモードの扉の一時解錠操作

①カード読み取り部にカードをかざします

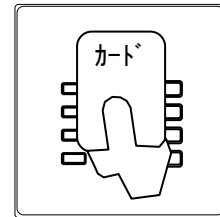
→カード照合OKの場合

OK灯が緑点灯(2秒)します。②へ

→カード照合NGの場合

NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。

①から操作しなおします。



②電気錠が一時解錠され、施錠灯が消灯し、解錠灯が赤点灯します。

扉を開け、入室後、扉を閉めます。

→扉が施錠され、施錠灯が緑点灯し、解錠灯が消灯します。

note

電気錠が解錠された後、一定時間(初期値 13 秒)以内に入室しない場合、自動で施錠されます。

入室後、一定時間(初期値 30 秒)以内に扉を閉めない場合、長時間開放警報が発生します。

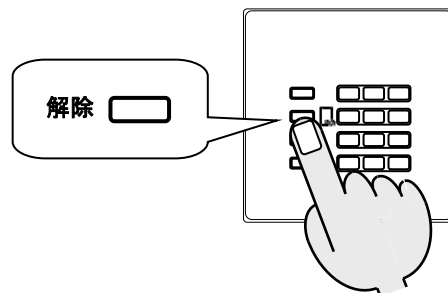
自動施錠や、長時間開放発生までの一定時間はH I Cにて変更できます。

6. キーレスモードの扉の操作順序

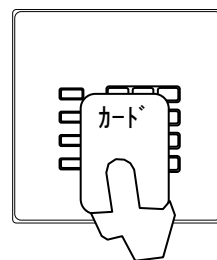
※侵入監視しない（警備ファンクションが無い）場合は7. 参照ください。

（１）警備解除操作と連続解錠操作（初回入室時）

- ① ファンクション[解除]キーを押します
→ 操作灯が緑点滅します。



- ② カード読み取り部にカードをかざします
→ カード照合OKの場合
OK灯が緑点灯（2秒）します。③へ
- カード照合NGの場合
NG灯が赤点灯（2秒）すると同時に、ブザー鳴動します。
①から操作しなおします。



note

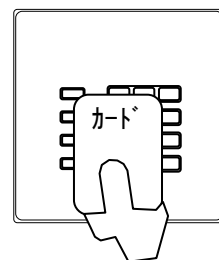
ファンクション押下後12秒経過にて押下が取り消されますので、
①から操作しなおします。

- ③ 警備が解除され、警備灯が消灯します。

- ④ カード読み取り部にカードをかざします。

→ カード照合OKの場合
OK灯が緑点灯（2秒）します。⑤へ

→ カード照合NGの場合
NG灯が赤点灯（2秒）すると同時に、ブザー鳴動します。
⑤から操作しなおします。



- ⑤ 電気錠が連続解錠され、施錠灯が消灯し、解錠灯が赤点灯します。

（２）通常（連続解錠中）入退室

カードリーダーの操作なしで通行できます。

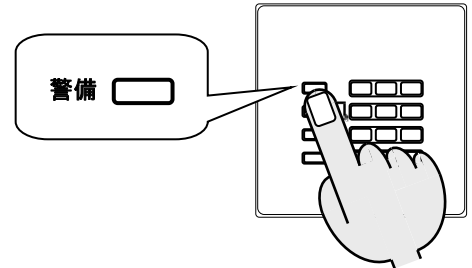
(3) 警備開始操作（最終退室）

- ① ループ灯が橙点灯していることを確認します。

note

消灯或いは赤点灯の場合は、扉や窓が開いています。すべて閉めてください。

- ② ファンクション[警備]キーを押します
→ 操作灯が緑点滅します。



- ③ カード読み取り部にカードをかざします

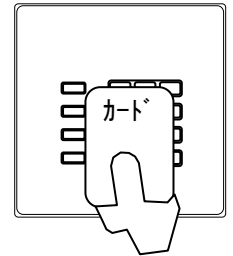
→ カード照合OKの場合

OK灯が緑点灯(2秒)します。④へ

→ カード照合NGの場合

NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。

①から操作しなおします。



note

ファンクション押下後12秒経過にて押下が取り消されますので、

①から操作しなおします。

- ④ 警備が開始され、警備灯が緑点灯します。

電気錠が連続施錠し、施錠灯が緑点灯し、解錠灯が消灯します。

！！ ループ灯が消灯或いは赤点灯の場合、警備操作は無効となりますので、

①から操作しなおします。

なお、メーカーの設定変更により、ループ灯の消灯・赤点灯中の警備操作を有効にすることもできます。有効時の動作は以下のとおりです。

！！ ループ灯が消灯或いは赤点灯の場合、一定時間(初期値10秒)仮警備状態となります。

(仮警備状態：警備灯が緑点滅しブザー鳴動を繰り返します。)

→ (1) 警備解除操作と連続解錠操作(初回入室時操作)を行います。

部屋内のすべての扉・窓などが開いていないか確認し、①から操作しなおします。

→ 一定時間以内に解除操作をしない場合、警備が開始され、侵入警報となります。

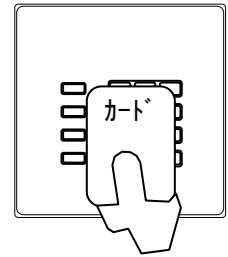
note

仮警備状態の時間は、H I Sで変更できます。

7. キーレスモードの扉の連続施錠解錠操作

(1) 連続解錠（初回入室時）

- ①カード読み取り部にカードをかざします。
 - カード照合OKの場合
OK灯が緑点灯(2秒)します。②へ
 - カード照合NGの場合
NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。
①から操作しなおします。



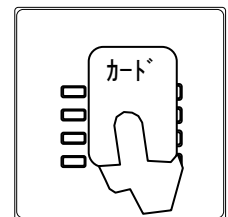
- ②電気錠が連続解錠され、施錠灯が消灯し、解錠灯が赤点灯します。

(2) 通常（連続解錠中）入退室

カードリーダーの操作なしで通行できます。

(3) 連続施錠（最終退室）

- ①カード読み取り部にカードをかざします。
 - カード照合OKの場合
OK灯が緑点灯(2秒)します。②へ
 - カード照合NGの場合
NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。
①から操作しなおします。



- ②電気錠が連続施錠され、施錠灯が緑点灯し、解錠灯が消灯します

8. 防犯付きキーレスモードの扉の操作順序

(1) 警備解除操作（初回入室時）

①カード読み取り部にカードをかざします

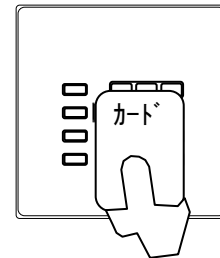
→カード照合OKの場合

OK灯が緑点灯(2秒)します。②へ

→カード照合NGの場合

NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。

①から操作しなおします。



②警備が解除され、警備灯が消灯します。

電気錠が連続解錠され、施錠灯が消灯し、解錠灯が赤点灯します。

(2) 通常（連続解錠中）入退室

カードリーダーの操作なしで通行できます。

(3) 警備開始操作（最終退室）

①ループ灯が橙点灯していることを確認します。

note

消灯或いは赤点灯の場合は、扉や窓が開いています。すべて閉めてください。

②カード読み取り部にカードをかざします

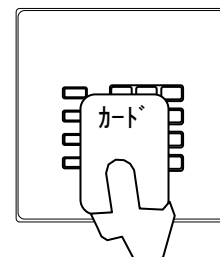
→カード照合OKの場合

OK灯が緑点灯(2秒)します。③へ

→カード照合NGの場合

NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。

①から操作しなおします。



③警備が開始され、警備灯が緑点灯します。

電気錠が連続施錠し、施錠灯が緑点灯し、解錠灯が消灯します。

！！ループ灯が消灯或いは赤点灯の場合、警備操作は無効となりますので、

①から操作しなおします。

なお、メーカーの設定変更により、ループ灯の消灯・赤点灯中の警備操作を有効にすることもできます。有効時の動作は以下のとおりです。

！！ループ灯が消灯或いは赤点灯の場合、一定時間(初期値 10 秒)仮警備状態となります。

(仮警備状態：警備灯が緑点滅しブザー鳴動を繰り返します。)

→(1) 警備解除操作(初回入室時操作)を行います。

部屋内のすべての扉・窓などが開いていないか確認し、①から操作しなおします。

→一定時間以内に解除操作をしない場合、警備が開始され、侵入警報となります。

note

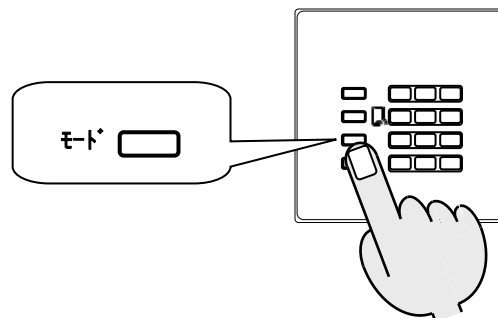
仮警備状態の時間は、H I S で変更できます。

9. 通行モードの切替え操作

侵入監視機能がある場合、警備解除中のみ操作可能です。

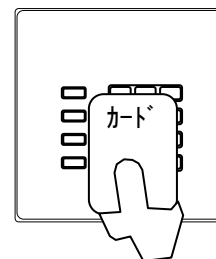
(1) 通行モードの切替え操作

- ①ファンクション[モード]キーを押します。
→操作灯が緑点滅します



- ②カード読み取り部にカードをかざします
→カード照合OKの場合
OK灯が緑点灯(2秒)します。③へ

- カード照合NGの場合
NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。
①から操作しなおします。



note

ファンクション押下後12秒経過にて押下が取り消されますので、
①から操作しなおします。

- ③モードが変更され、モード灯が橙点灯します。
→デフォルトがACSモードの場合、キーレスモードになり、電気錠は連続解錠状態となります。
→デフォルトがキーレスモードの場合、ACSモードになり、電気錠は施錠されます。

note

オプションにて、キーレスモードに変更した時点で、電気錠を連続施錠状態にできます。

！！侵入監視機能がある場合、警備開始操作することで、デフォルトの通行モードに戻ります。
デフォルトの通行モードはHICにて設定します。

10. 非常解錠中の操作

非常解錠とは、火災発生時など、現在の警備の状態、施解錠の状態にかかわらず強制的に連続解錠することです。非常解錠中は、カードリーダーの施錠灯、警備灯、ループ灯、モード灯が赤色点滅します。

（１）もとの状態に戻すには

非常復旧には2つの方法があります。

- ①H I Pから（もしくは外部からの制御で）非常復旧制御をする
- ②カードリーダーでカード照合操作をする（照合OK）

カードリーダーによって非常解錠中の照合操作をするには、H I Cでの設定が必要です。

（２）非常復旧後の状態

非常復旧後には警備状態、施解錠状態は非常解錠前に戻ります。

1 1. 2人照合

前記 1. ～ 9. のカード照合操作において、一人目の照合OK後、一定時間以内に
2人目の照合を行います。”カード読み取り部にカードをかざします”の箇所が下記の通りになります。

①カード読み取り部に1人目のカードをかざします

→カード照合OKの場合

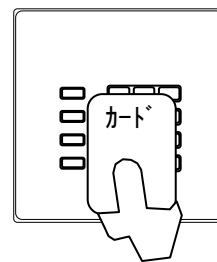
OK灯が緑点灯(2秒)します。

その後、操作灯が緑点滅します。②へ

→カード照合NGの場合

NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。

①から操作しなおします。



②カード読み取り部に2人目のカードをかざします。

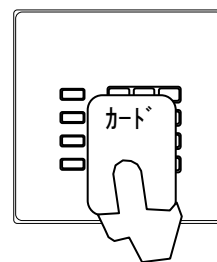
→カード照合OKの場合

OK灯が緑点灯(2秒)します。③へ

→カード照合NGの場合

NG灯が赤点灯(2秒)すると同時に、ブザー鳴動します。

①(1人目)から操作しなおします。



③制御（警備開始、警備解除、電気錠の施錠、解錠など）が
実行されます。

note

一人目照合OK後、一定時間以内(12秒)に二人目の照合をしない場合は①から操作しなおします。